

発気揚揚！

第11号

新年度が始まりました。今年度も生徒の皆さんにとって、成長できる1年となることを期待しています。発気揚揚も3年目を迎えましたが、これからもたくさん皆さんを応援していきます。

さて、私は最近、「個性」について考えることがあります。例えば、歌がうまい、野球がうまい、英語が得意、人よりも足が速い、このように優れていることばかりが個性でしょうか。

それもそのはず、「私は歌がうまい」と思うのは、誰かに「君は歌がうまいなあ」と言われたからではないでしょうか。「君は勉強ができるね」「野球がうまいね！」「足が速いね！」も、みんな周りの人が誰かと比べて伝えてくれた言葉だと思います。

実は、個性や自分らしさは、自分の中で発見するものではなく、周りの人が認めたことが大きく影響し、それを皆さんは、肯定的に受け止めた結果として、認識していくからなんです。もちろん、「自分は自分」と周りの人からの評価を気にしない人もいますが、自分らしさを認めてもらいたいと思う気持ちは誰にでもあるはずですよ。

でも、よく考えてみると、勉強が苦手、運動も嫌い、ピーマンが食べられない、人と接すると緊張してうまく話せない、このようにできないことも、自分という存在を表現する1つではないでしょうか、そう、「自分らしさ」だと思いませんか。

よく考えてみてください。何もかもできて、何もかもうまくて、そんな完璧な人はいないはずですよ。「歌が下手だね」「勉強ができないね」「運動も苦手でしょ？」なんて言ってくれる人はいないと思いますが、できないことも、苦手なことも、大切な個性なはずですよ。

宮沢賢治の「どんぐりと山猫」を御存知ですか？どんぐりが一番偉いのはどのどんぐりかを争う裁判に山猫が呼び出されます。どんぐりが山猫に言います。「俺は頭がとがっているから一番偉い」「俺は丸くて形がいいから一番偉い」「俺は背が高いから一番偉い」とどんぐりが言い争っていると山猫裁判長が言いました「この中で、一番偉くなくて、めちゃくちゃで、てんでなっていないような奴が一番偉いのだ！」これを聞いて、どんぐりたちは、黙ってしまいました。季節外れでしたが、今回は、どんぐりの話でした。

新年度は、新しい仲間との出会う時期です。それぞれが個性や自分らしさをもっています。いいところもあれば未熟なところもあるでしょう。人に順番も優劣もありません。一番も二番も、たとえ最後でも、その個性や自分らしさを大切にすることです。そして、その個性を周りが認めてあげれば、必ず素敵な出会いとなっていくはずですよ。

皆さんの個性が発揮され自分らしい高校生活となる1年でありますように期待します。

